

量子ビーム施設調査様式（令和元年時点）

施設名: ○○○

【令和元年8月現在】

項目		備考												
1.施設情報	運営主体	○○法人△△△△												
	設置場所	○○県△△市(市町村名まで)												
	施設の規模(蓄積リング周長等)	m												
	ビームライン設置本数 (現在)	全体	本											
		うち、共用BL	本											
		うち、専用BL	(産)	本										
			(学)	本										
		(官)	本											
	ビームライン最大設置本数	本												
	加速エネルギー	GeV												
波長領域	記入例: 真空紫外～軟X線(○keV～○keV)													
建設経費(建設時期:○年)	億円	(建設時期を記載)												
施設設置の目的、背景、経緯等	(設置当時のニーズ等もわかれば)													
2.運営費	H30年度	全体	百万円	(記載できる範囲で記載)										
		○○交付金	百万円											
		○○事業	百万円											
		利用料収入	百万円											
	R1年度予定	百万円												
3.運転時間	H30年度実績	運転時間	時間											
		実験時間(ユーザータイム)	時間											
	R1年度予定	運転時間	時間											
		実験時間(ユーザータイム)	時間											
4.年間利用者数	H30年度実績	延べ数	人	(利用申請時の利用者数の総計)										
		総数	人	(放射線業務従事者登録者数)										
5.年間運転スケジュール	○別シートの「スケジュール」にご記入をお願いいたします。 シートへ記載したものがこちらへ反映されます。		<input type="checkbox"/> シャットダウン 白色 <input type="checkbox"/> 調整運転・マシンスタディ 黄色 <input type="checkbox"/> ユーザータイム 青 ○週1～2日の調整・マシンスタの場合は、別途記載。											
	平成31年	令和元年										令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
6.令和元年度の公募の予定	令和元年度の公募の予定(有、無。「有」の場合、時期、回数、料金等を明記。) 【回数、時期。随時受付がある場合はその内容】													

○別シートの「運転体制」にご記入をお願いいたします。  
シートに記載頂いた内容がこちらに反映されます。

(単位:人)

職種/任期/勤務形態	年齢							合計
	20歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	65歳以上	
研究員(主に研究)	研究員全体	0	0	0	0	0	0	0
	任期有	常勤						
		非常勤						
	任期無	常勤						
非常勤								
運転員 (主に光源等の運転)	運転員全体	0	0	0	0	0	0	0
	任期有	常勤						
		非常勤						
	任期無	常勤						
非常勤								
技術支援員 (主にユーザーへの技術支援、コーディネータ等)	技術支援員全体	0	0	0	0	0	0	0
	任期有	常勤						
		非常勤						
	任期無	常勤						
非常勤								
事務系職員	事務系職員全体	0	0	0	0	0	0	0
	任期有	常勤						
		非常勤						
	任期無	常勤						
非常勤								
職種合計	0	0	0	0	0	0	0	

7.運転体制

8.論文発表数、特許件数その他成果の創出状況

H29年度実績	論文発表数	件
	特許件数	件
H30年度実績	論文発表数	件
	特許件数	件
論文、特許以外の成果創出	(具体的な製品化、関係する別事業での成果等あれば)	

○別シートの「利用形態・分類」にご記入をお願いいたします。  
シートに記載頂いた内容がこちらに反映されます。

○平成29年度実績

		内部利用		大学・機関等		産業界		海外利用		その他		利用形態合計	
		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
成果公開	成果公開全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通常利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	緊急利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	〇〇事業利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	その他	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
成果非公開	成果非公開全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通常利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	受託利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	〇〇事業利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	その他	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
公開・非公開合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○平成30年度実績

		内部利用		大学・機関等		産業界		海外利用		その他		利用形態合計	
		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
成果公開	成果公開全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通常利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	緊急利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	〇〇事業利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	その他	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
成果非公開	成果非公開全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通常利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	受託利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	〇〇事業利用	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
	その他	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
公開・非公開合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10.戦略的な取組状況

- ・施設・設備(加速器、分光器、その他装置)の特徴・強み
- ・施設・設備を利用した得意とする研究開発領域
- ・共通基盤技術の開発状況
- ・施設間の連携協力
- ・関連施設との拠点化、プラットフォーム形成等の状況

(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)

11.組織からの支援状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置・運営者からの財政的支援(予算規模、内容等)、人的支援(職種、人数等)</li> <li>・設置・運営者以外からの財政的支援、人的支援</li> </ul>	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)
12.施設利用にかかわる取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の共用の状況</li> <li>・施設・設備の共同利用・共同研究の状況 (どの施設・設備をどのような方法で共用若しくは共同利用・共同研究しているか)</li> <li>・産業利用と学術利用の区別 (区別している場合、特別な配慮を行っているか)</li> <li>・産業利用枠に上限がある場合、その割合)</li> <li>・その他の取組 (国プロにおける効果的利用を可能とする仕組み) (若手研究者による利用を促進する取組) (ユーザー支援への新たな取組・対応(競争的資金で研究を行う研究者への支援)) 等</li> </ul>	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)
13.産学連携の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数及び1件あたりの規模(予算、企業の数)</li> <li>・産学連携の環境(コミュニティの規模、産学連携の支援の取組があるか、ユーザーニーズの把握方法)</li> <li>・ビームタイムの確保方法(特別な配慮を行っているか)</li> <li>・手法(具体的な取組事例など)</li> <li>(※可能な範囲で企業名等を記載)</li> </ul>	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)
14.オープンデータ・オープンアクセスの取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースの構築状況、データの共用状況 (どのようなデータベースか、どのようなデータをどのように共用しているか)</li> <li>・SINET・スパコン等の活用状況</li> <li>・データポリシーの策定状況</li> </ul>	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)
15.海外との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国別の連携状況(どの国と、どのような連携を行っているか(施設・設備や装置開発などの共同研究、情報交換、人材交流、その他特殊分野))</li> <li>・連携の予算、人員規模</li> <li>・ビームタイムの確保方法(特別な配慮を行っているか)</li> </ul>	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)
16.人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成に係る予算・規模(定性的に示せない場合は、組織としてどのように人材育成に取り組んでいるか。)</li> <li>・人材の需要(人数、役職・年齢、職種(研究者、技術者等))</li> <li>・人材の供給源及び供給先として想定しうる大学(学部・学科名を含む)・研究機関等の名称</li> <li>・人材育成の手法(施設運営、加速器、分光器、エンドステーション(装置)等各々の開発に関わる人毎にどのように人材育成をおこなっているか)</li> <li>・研究者、技術者個人の研究活動に充てる時間を確保できているか</li> </ul>	<p>(※高校生以下を対象とした取組を含む) (※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)</p> <p>「研究活動」の考え方については、以下URLのp177～(付録41～)等をご参考ください。  <a href="http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/06/_icsFiles/afiedfile/2019/06/26/1418365_02.pdf">http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/06/_icsFiles/afiedfile/2019/06/26/1418365_02.pdf</a></p>
17.施設の管理方法	放射線管理、利用に係る手続き、ドミトリイ等の整備状況	(※現状に加えて、今後の方向性についても言及ください)

18. 今後の展望など	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後強みとしていきたい重点的取組や研究分野</li><li>・運営費の確保方策、必要な支援策</li><li>・施設・設備の老朽化対策・更新計画</li></ul> (※いつから、どのくらいの期間、どのようなことを計画、どのくらいの金額規模か、財源確保策はあるか) (※中長期的ロードマップ等があればご教示ください) <ul style="list-style-type: none"><li>・我が国の今後の施設・設備の整備の在り方、産学官連携の在り方や拠点化・プラットフォーム形成の在り方等についての意見</li><li>・その他運用上の課題</li><li>・国、自治体、民間企業等に期待すること</li></ul>	
-------------	---	--

【放射光施設】

所在地	施設名称	設置者・運営主体	備考
宮城県	仙台市	次世代放射光施設	国(QST・PhoSIC)
茨城県	つくば市	PF、PF-AR	KEK・物構研
愛知県	瀬戸市	AichiSR	愛知県((公財)科学技術交流財団)
愛知県	岡崎市	UVSOR	自然研・分子研
滋賀県	草津市	立命館大学SRセンター	立命館大学
兵庫県	佐用郡	SPring-8	国(理化学研究所)
兵庫県	佐用郡	NewSUBARU	兵庫県立大学
広島県	東広島市	HiSOR	広島大学
佐賀県	鳥栖市	SAGA-LS	佐賀県((公財)佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトン光研究センター)

【中性子線施設・ミュオン源施設】

所在地	施設名称	設置者・運営主体	備考
北海道	札幌市	HUNS	北海道大学
青森県	六ヶ所村	量子科学センター	青森県
宮城県	仙台市	CYRIC	東北大学
茨城県	つくば市	J-PARC MLF	国(JAEA・KEK)
茨城県	那珂郡東海村	JRR-3	JAEA
茨城県	那珂郡東海村	iBNCT	いばらき中性子医療研究センター
埼玉県	和光市	RANS	理化学研究所
東京都	文京区	DLA	東京大学
愛知県	名古屋市	NUANS	名古屋大学
京都府	京都市	KUANS	京都大学
大阪府	泉南郡	複合原子力科学研究所	京都大学
愛媛県	西条市	SHI-A TEX	住友アテックス

【イオンビーム施設】

所在地	施設名称	設置者・運営主体	備考
福井県	敦賀市	W-MAST	福井県((公財)若狭湾エネルギー研究センター)
茨城県	つくば市	陽子線医学利用研究センター	筑波大学
群馬県	高崎市	TIARA	QST
埼玉県	和光市	RIBF	理化学研究所
東京都	目黒区	ペレットロン	東京工業大学
大阪府	吹田市	RCNP	大阪大学 (ミュオン源もあり)
福岡県	福岡市	タンデム加速器	九州大学

【レーザー施設】

所在地	施設名称	設置者・運営主体	備考
千葉県	野田市	FEL-TUS	東京理科大学
京都府	宇治市	化学研究所	京都大学
京都府	木津川市	J-KAREN	QST
大阪府	吹田市	激光XII	大阪大学
兵庫県	佐用郡	SACLA	国(理化学研究所)

【その他】

所在地	施設名称	設置者・運営主体	備考
宮城県	仙台市	電子光物理学研究センター	東北大学 (電子線)
東京都	千代田区	LEBRA	日本大学 (電子線)
千葉県	千葉市	HIMAC	QST (重粒子線)